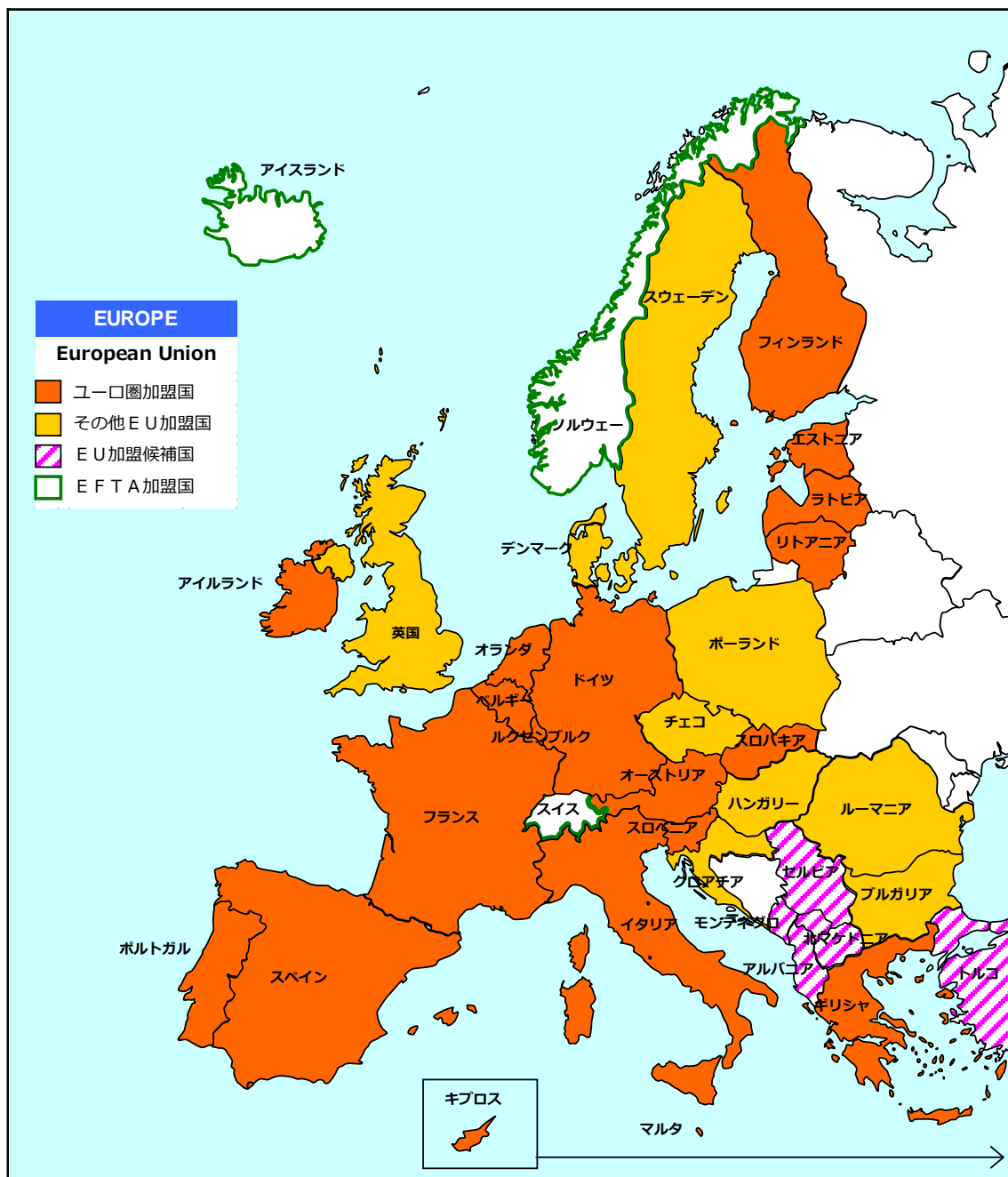


2019年3月28日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2019.3)

経済調査部  
研究員 矢澤 朋子

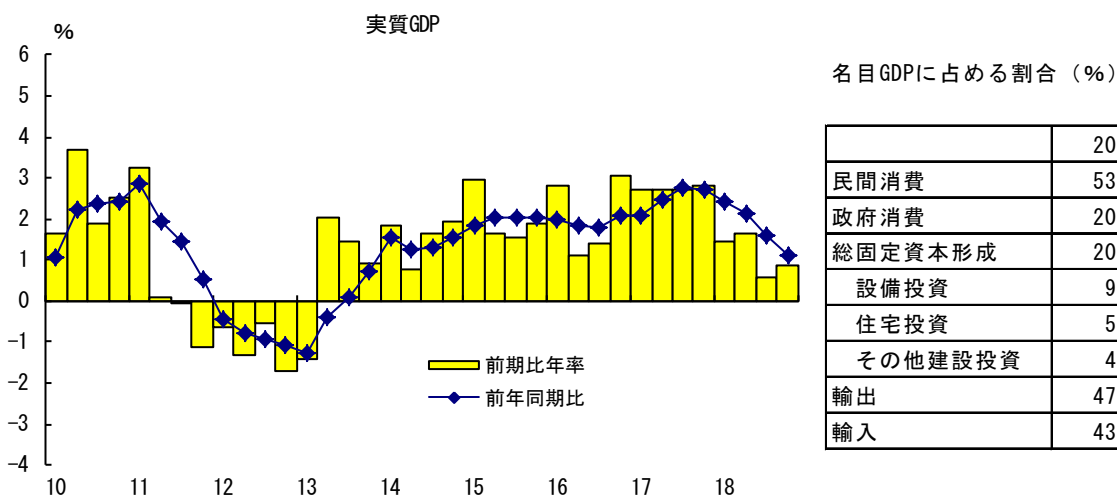


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

## ユーロ圏 GDP

- 18年Q4の実質GDP成長率（改定値）は前期比+0.22%と速報値の同+0.19%からわずかに上方修正された。過去分にも修正が加えられ、Q3は同+0.2%から同+0.1%に下方修正
- 需要項目別では、政府消費が16年Q1以来の高い伸び。個人消費も小幅に加速した。輸入は減速する一方、輸出の伸びが拡大し、純輸出の寄与度は4四半期ぶりのプラスに転じた
- 一方、在庫変動は09年Q2以来の大幅なマイナス寄与を記録した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.1	0.2
個人消費	0.6	0.2	0.4	0.6	0.4	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2
政府消費	0.8	0.3	0.2	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.0	0.4	0.1	0.7
総固定資本形成	0.8	1.2	0.6	1.6	-0.7	2.1	-0.1	1.3	0.0	1.5	0.6	0.6
設備投資	0.6	2.0	0.1	2.0	-2.4	3.3	-1.9	2.4	-0.4	1.7	1.0	0.4
住宅投資	1.6	1.3	1.6	1.2	1.0	1.4	1.0	1.1	0.5	1.1	0.8	0.6
その他建設投資	0.1	-0.9	0.9	1.1	1.2	-0.0	2.9	-0.9	0.3	1.7	-0.5	1.1
輸出	0.6	1.2	0.4	1.5	1.8	1.0	1.3	2.2	-0.7	1.1	0.2	0.9
輸入	0.7	1.1	0.5	2.1	0.4	1.3	0.1	1.8	-0.5	1.3	1.1	0.5

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

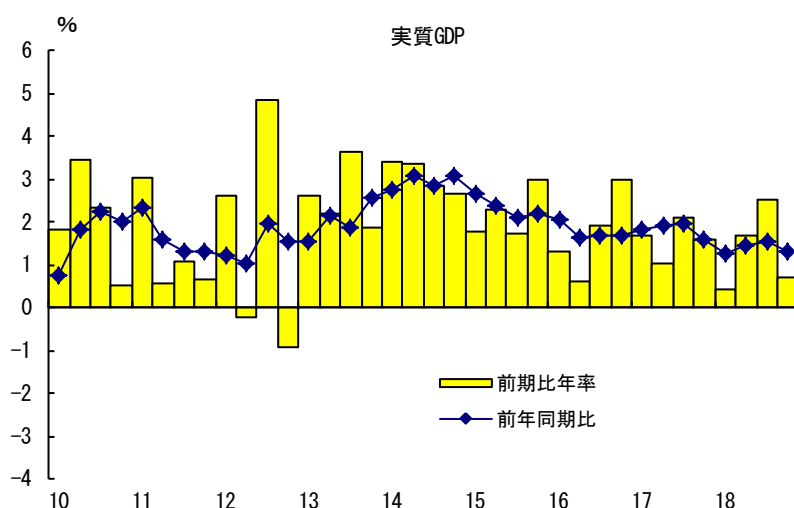
	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.1	0.2
個人消費	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1
政府消費	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
総固定資本形成	0.2	0.2	0.1	0.3	-0.2	0.4	-0.0	0.3	0.0	0.3	0.1	0.1
設備投資	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.3	0.3	-0.2	0.3	-0.0	0.2	0.1	0.0
住宅投資	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
その他建設投資	0.0	-0.0	0.0	0.0	0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.1	-0.0	0.1
在庫変動	0.0	-0.2	0.0	0.2	-0.1	-0.0	-0.2	-0.0	0.2	-0.1	0.3	-0.4
輸出	0.3	0.5	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.1	-0.3	0.5	0.1	0.4
輸入	-0.3	-0.5	-0.2	-0.9	-0.2	-0.6	-0.1	-0.8	0.2	-0.6	-0.5	-0.2
純輸出	-0.0	0.1	-0.1	-0.2	0.7	-0.1	0.5	0.3	-0.1	-0.0	-0.4	0.2

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

## 英国 GDP

- 18年Q4の実質GDP成長率（1次発表）は3四半期ぶりに減速し、前期比+0.2%となった
- 大幅な減速の要因は、在庫変動、純輸出、総固定資本形成がマイナス寄与に転じたため、政府消費及び個人消費のプラス寄与を打ち消した
- 11-1月のGDP成長率は前期比+0.2%。好調な卸売・小売がサービス業の加速を牽引したが、製造業や電気・ガス等を含む鉱工業や建設業ではマイナスの伸びが続く



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6	0.2
個人消費	1.1	0.8	1.1	0.0	0.7	0.4	0.5	0.3	0.4	0.6	0.4	0.4
政府消費	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.6	0.5	0.1	0.0	0.1	-0.4	-0.3	1.4
総固定資本形成	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.9	0.3	0.7	-0.6	-0.9	0.6	-0.5
政府部門	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.4	7.5	-1.9	-0.3	-1.5	-2.4	6.0	1.3
企業部門	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.3	0.9	0.4	-0.6	-0.5	-1.2	-1.4
民間住宅投資	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.3	1.2	4.9	1.6	2.2	0.6	-1.1
輸出	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.2	1.2	1.9	0.1	-1.4	-1.1	1.1	1.2
輸入	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.9	0.6	-0.6	-0.5	0.4	0.6	2.2

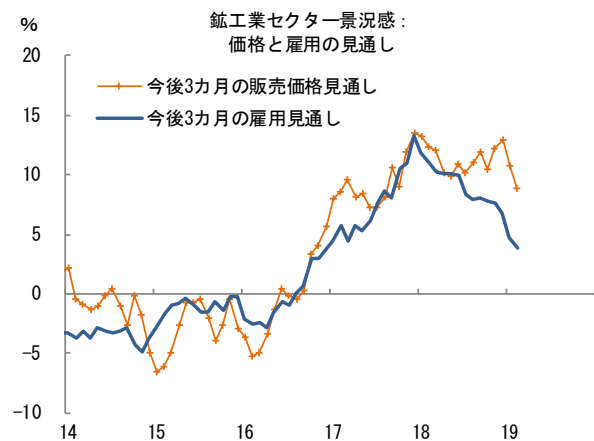
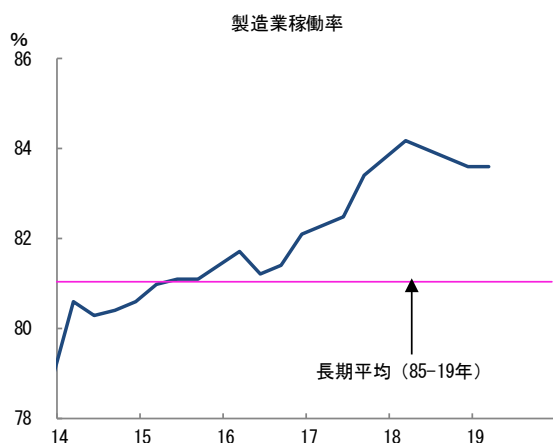
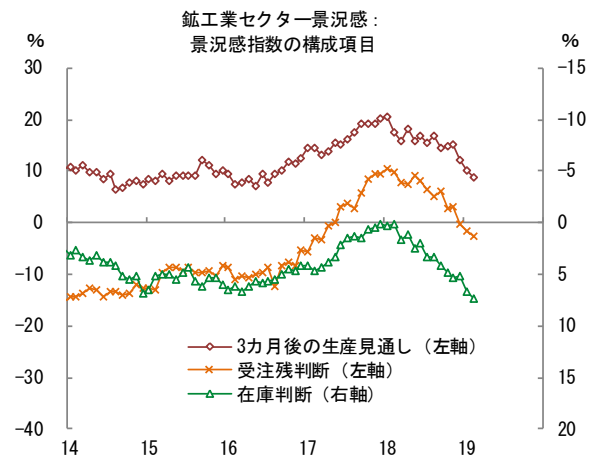
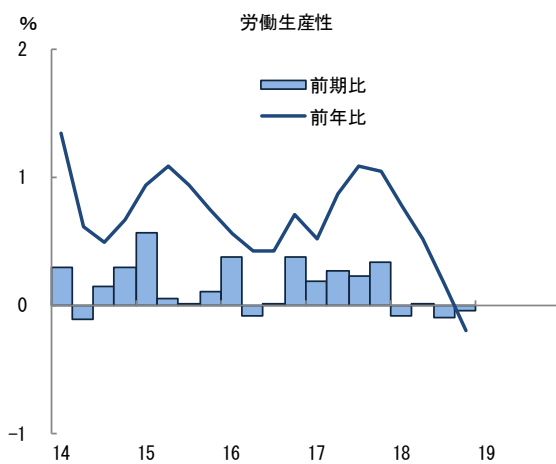
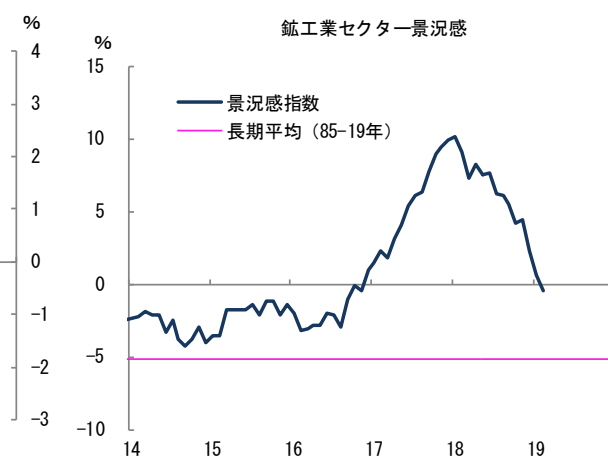
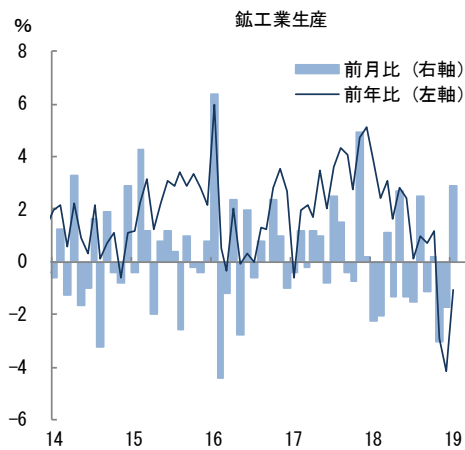
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6	0.2
個人消費	0.7	0.5	0.7	0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3
政府消費	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.3
総固定資本形成	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.1
政府部門	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.2	-0.1	-0.0	-0.0	-0.1	0.2	0.0
企業部門	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1
民間住宅投資	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	-0.0
在庫変動	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-0.1	-0.1	0.8	0.3	-0.2
輸出	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.0	0.4	0.6	0.0	-0.4	-0.3	0.3	0.4
輸入	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.3	-0.2	0.2	0.1	-0.1	-0.2	-0.7
純輸出	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.4	0.2	-0.3	-0.4	0.1	-0.3

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比で+1.4%と17年11月以来の大幅増。PC・電機・光学製品、化学・基礎医薬品、食品・飲料・たばこ、電気・ガス等の生産が同プラスに転じた
- 前年比では-1.1%と減少幅は縮小するも、3カ月連続のマイナスとなった。自動車等輸送機器の生産が大きく落ち込んだ
- 2月の鉱工業セクター景況感指数は前月比で悪化し、16年11月以来のマイナス圏入りとなった。すべての構成項目が悪化した

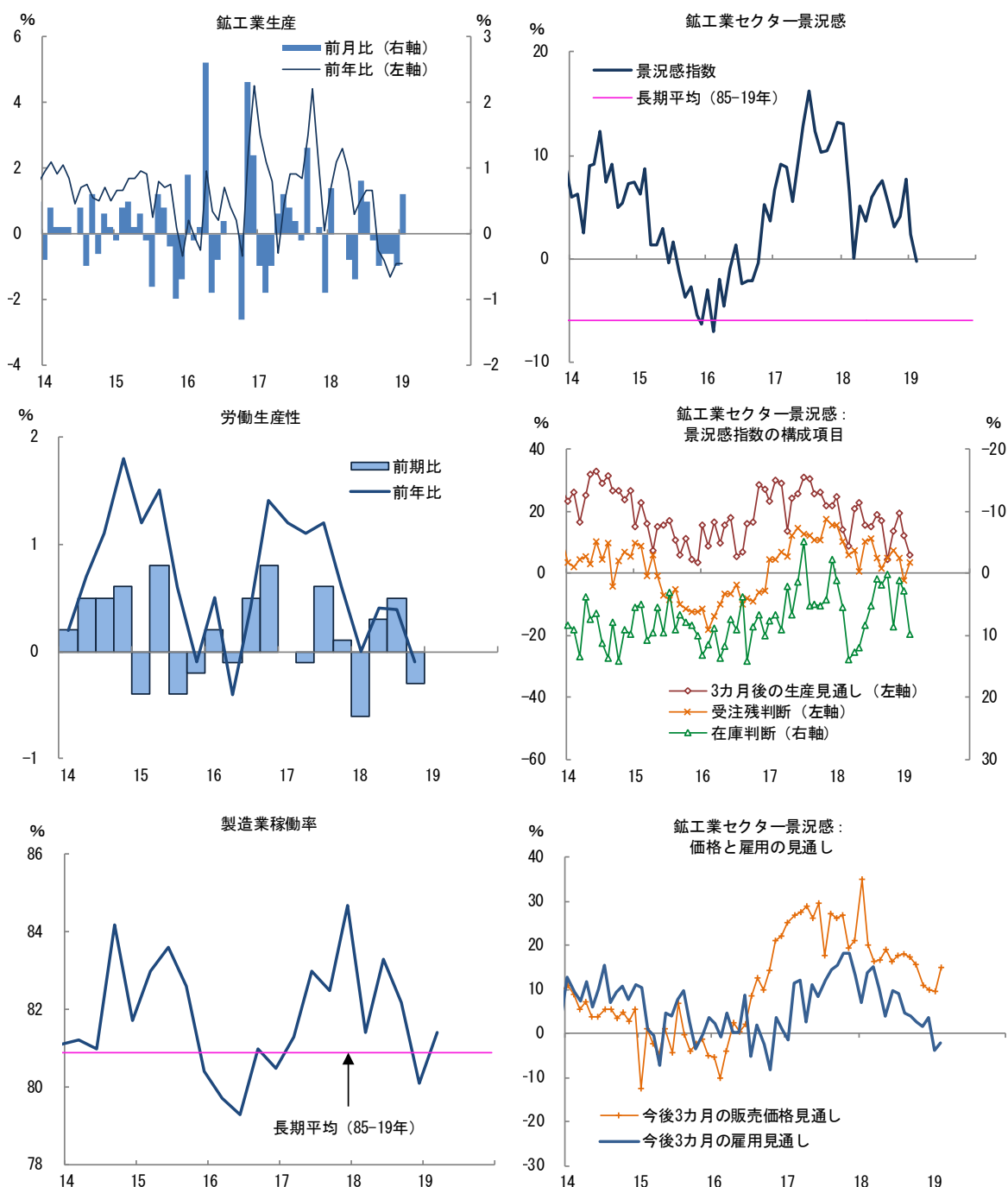


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比+0.6%と6カ月ぶりの増加に転じた。基礎医薬品等の生産が大きく反発したため。また、食品・飲料・たばこの生産は16年12月以来の高い伸びを記録
- 前年比で見ると-0.9%と5カ月連続の前年割れ。自動車・トレーラー等の不振により輸送機器生産のマイナス幅が拡大した。また、機械・装置の生産も減少幅が拡大
- 2月の鉱工業セクター景況感は16年10月以来の水準まで悪化した。構成項目のうち、受注残判断は改善に転じたものの、生産見通し及び在庫判断は2カ月連続の悪化となった

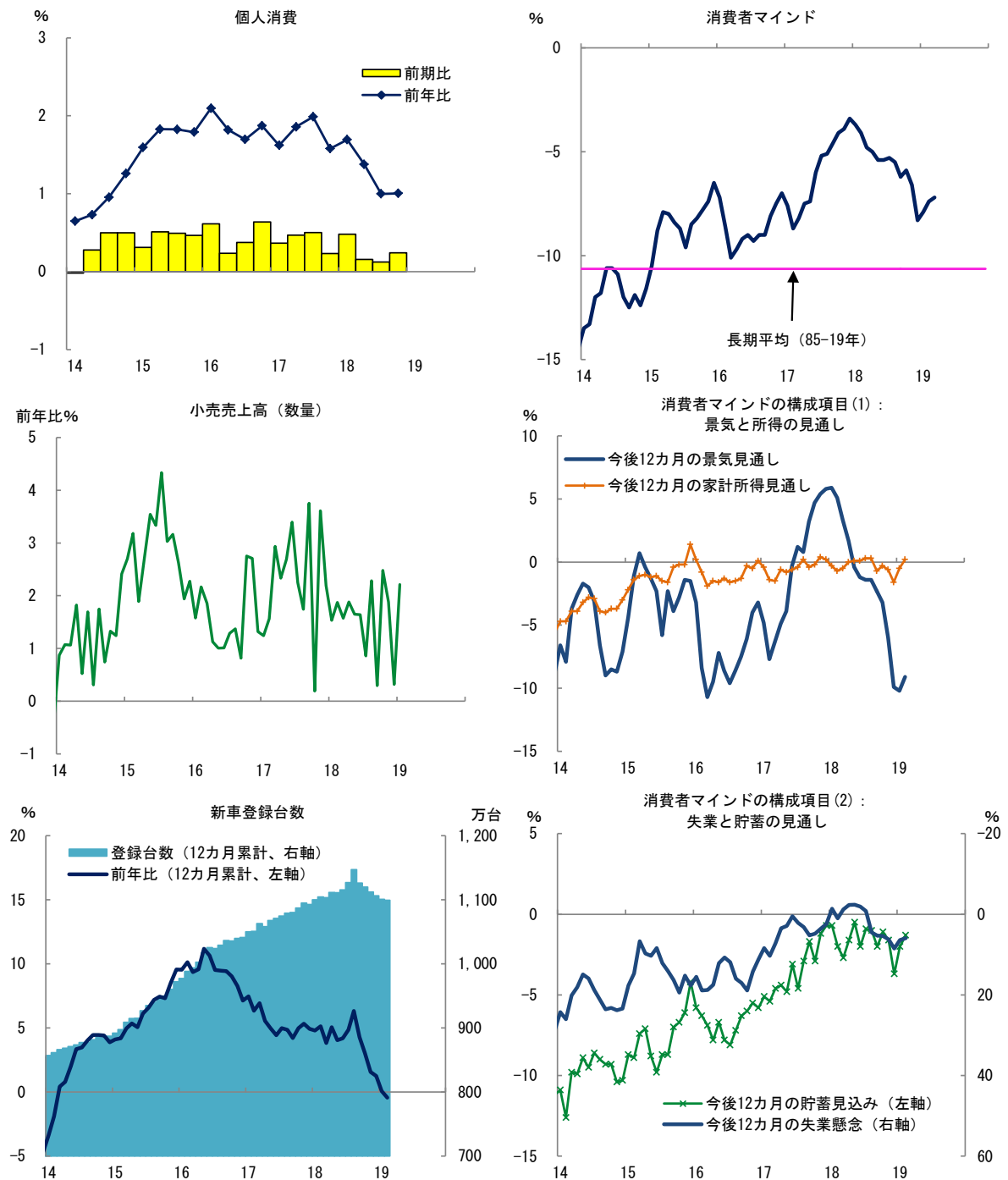


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 1月の小売売上高（数量）は前年比+2.2%に大きく加速。自動車燃料の売上が17年6月以来の大幅な伸びとなり、食品・飲料・たばこの売上也大きく加速した
- 2月の新車登録台数は12カ月累計で前年比-0.5%と14年2月以来のマイナスを記録した。単月でも同-1.5%と6カ月連続の前年割れとなり、不振が続く
- 3月の消費者マインド（速報）は3カ月連続で前月比改善となった

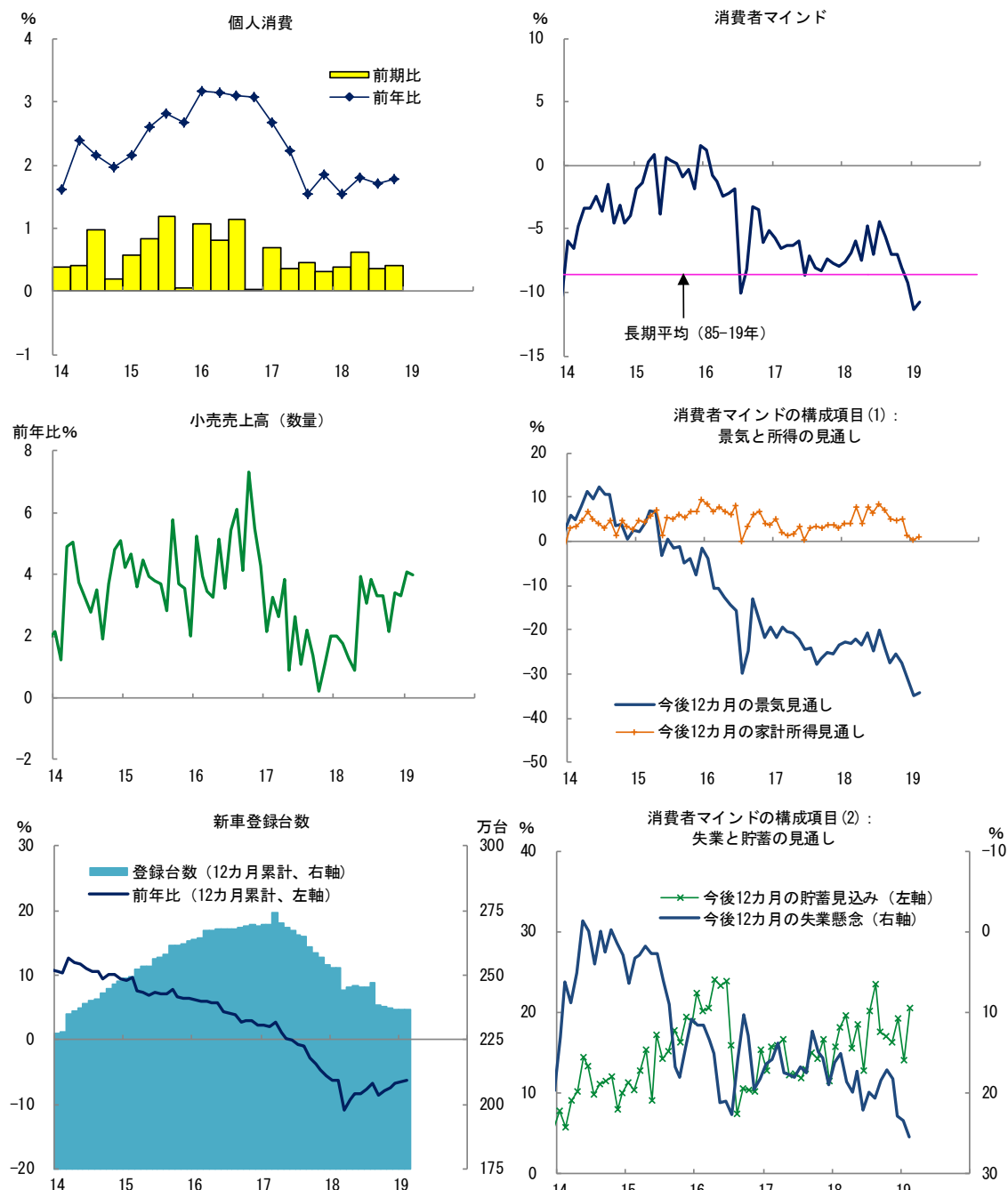


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 2月の小売売上高（数量）は前年比+4.0%と1月からほぼ横ばい。自動車燃料及び非食品売上は加速するも、食品売上は大きく減速した
- 2月の新車登録台数は単月で前年比+1.4%と6か月ぶりのプラスに転じた。12か月累計では同一-6.4%とわずかに減少幅が縮小している
- 2月の消費者マインドは前月比で7か月ぶりの改善となるも、依然長期平均を大きく下回る水準。構成項目のうち、失業懸念は引き続き悪化傾向にある

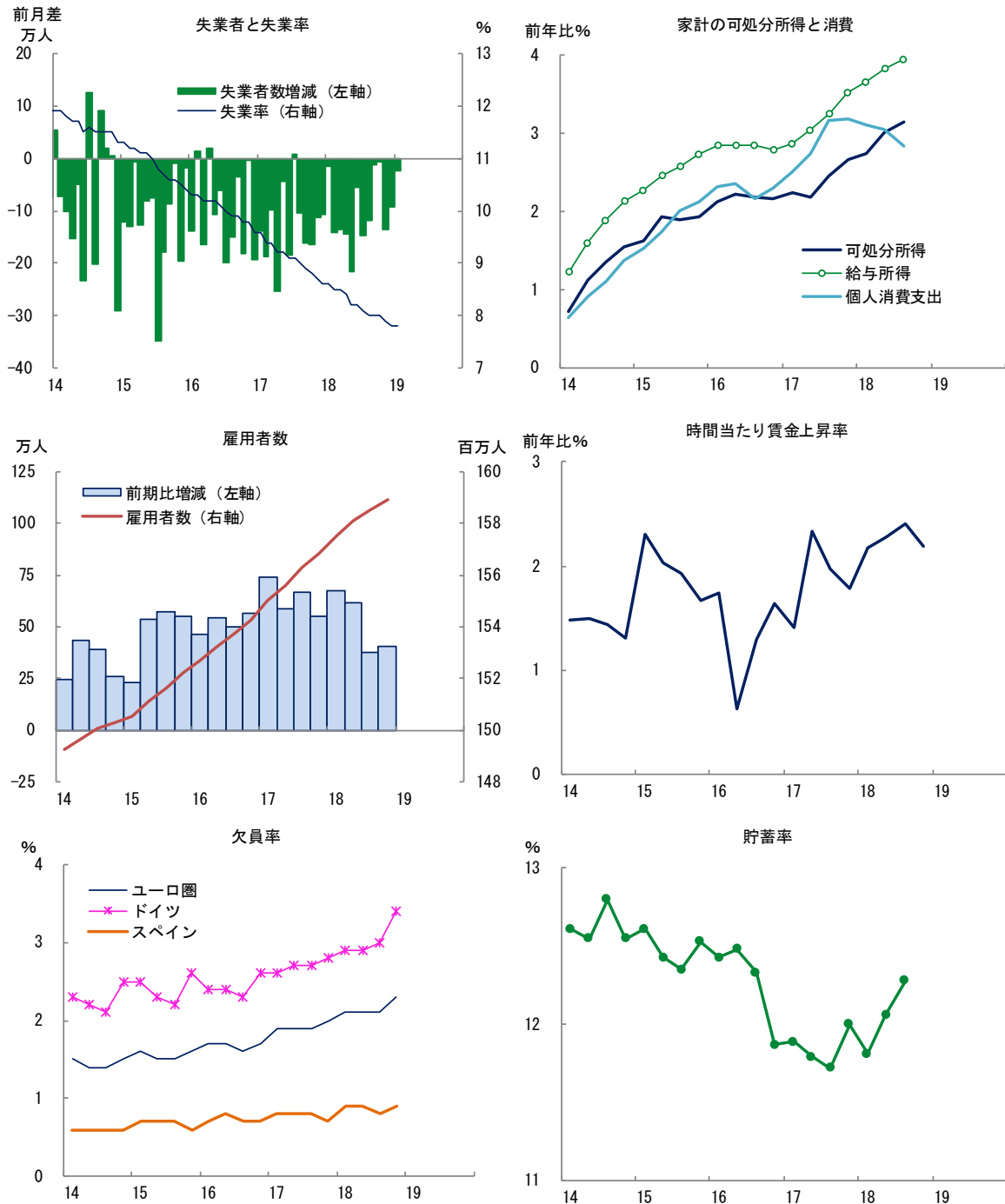


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 1月の失業率は7.8%となり、18年12月と同様08年10月に並ぶ低水準。失業者数は前月比での減少が続く
- Q4の雇用者数の内訳が公表されたが、前期比での増加に最も寄与したのは公務・教育・社会事業、次いで建設業であった。一方、不動産は2年ぶりの減少となった
- Q4の時間当たり賃金上昇率は前年比+2.2%と4四半期ぶりに減速した。不動産の賃金上昇率は13年Q1以来の大幅増となったが、宿泊・飲食及び金融・保険などで大きく減速した



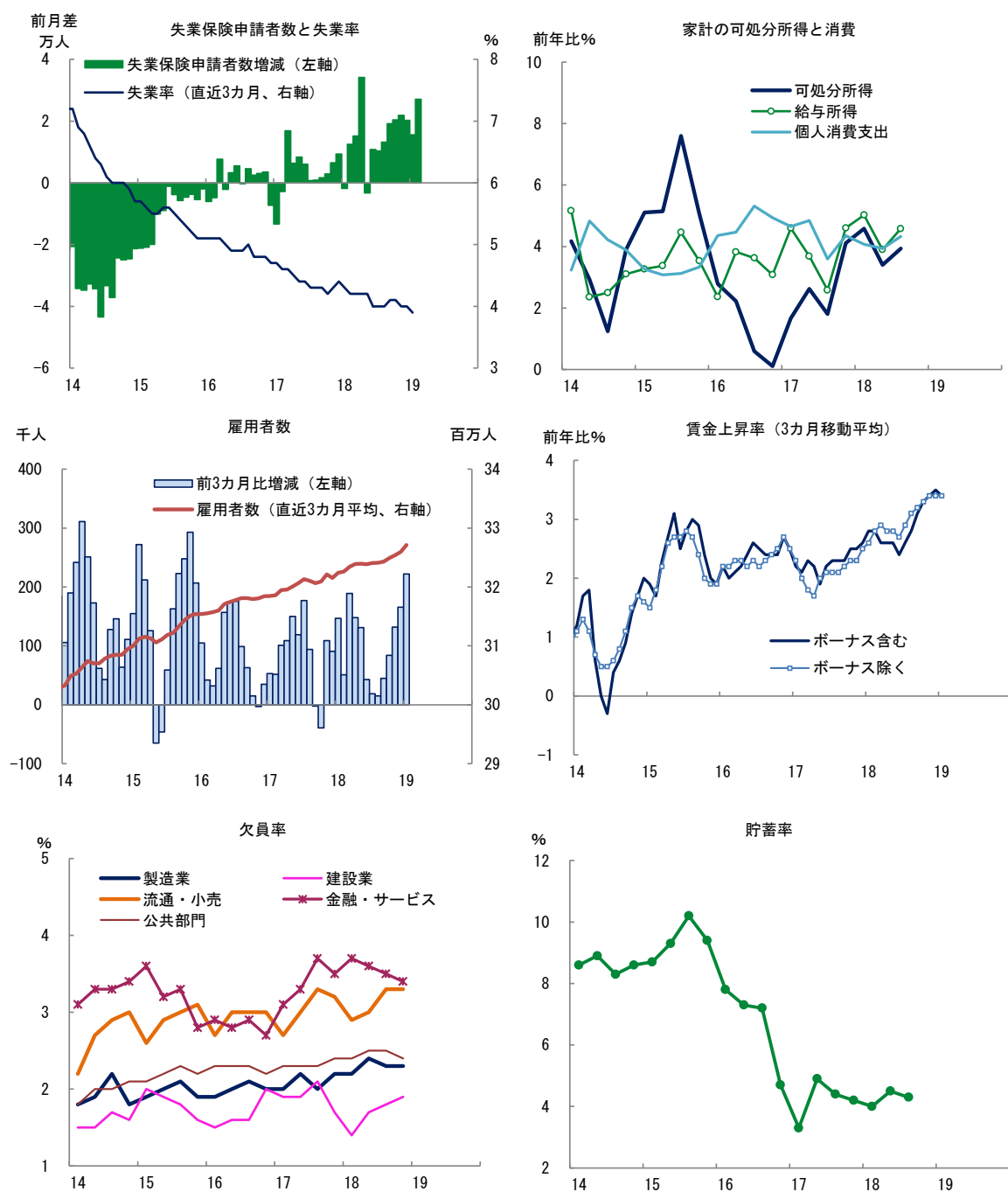
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 11-1月平均の失業率は3.9%となり、74年12月-75年2月平均以来の低水準
- 雇用者数は71年の統計開始以来の最高を更新し、失業者数は前期比で減少した
- 11-1月平均のボーナスを含む賃金上昇率は前年比+3.4%と10-12月平均からわずかに減速するも、高水準を維持。建設業では力強い加速が続くが、サービス業では減速に転じた

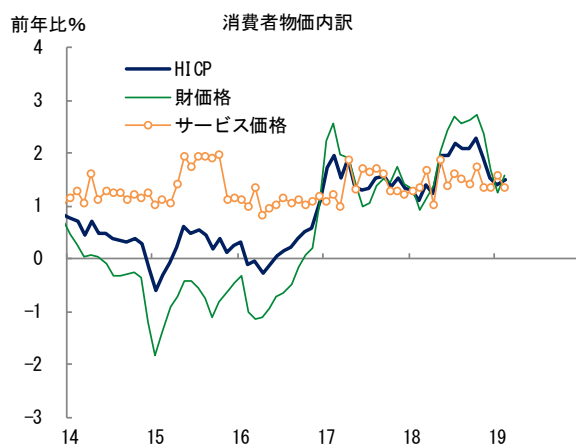
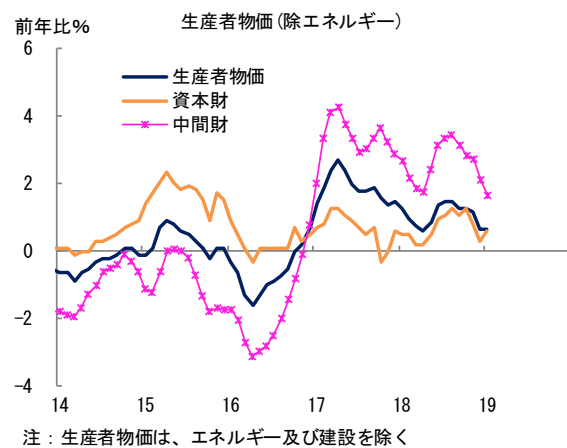
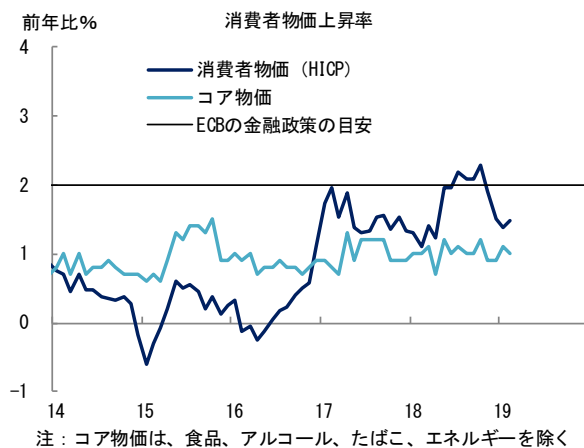


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

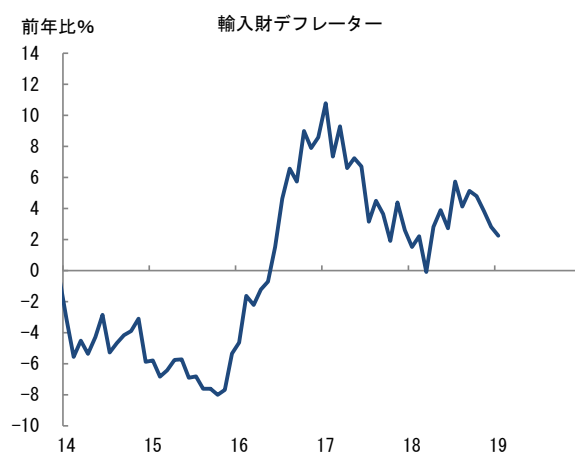
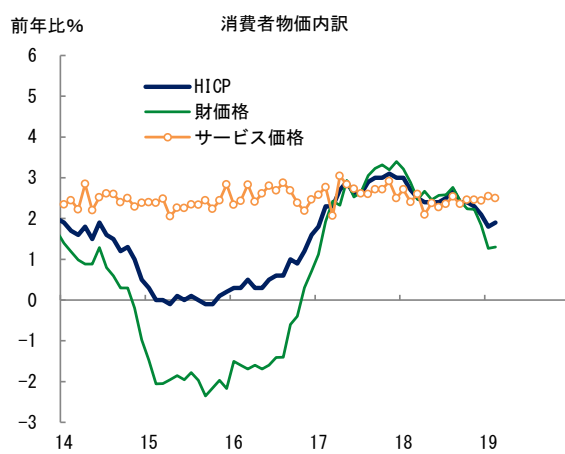
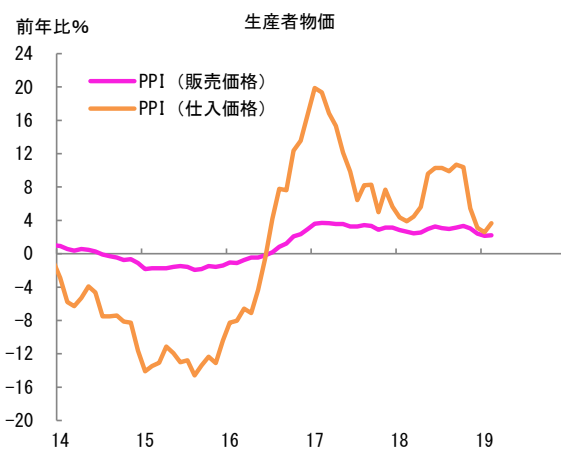
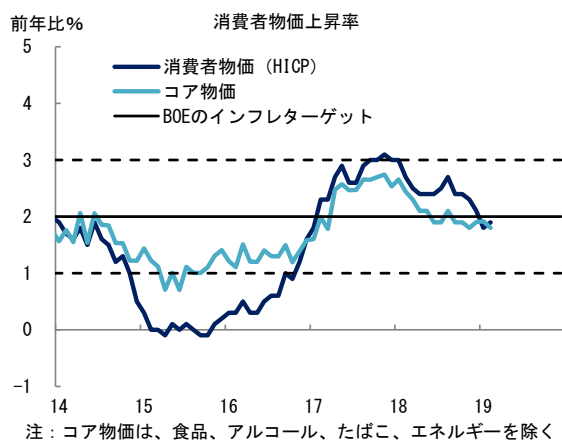
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は食品・アルコール・たばこ及びエネルギー価格が牽引し、前年比+1.5%に加速。一方、サービス価格は減速しコア物価上昇率は同+1.0%に減速
- 1月の生産者物価上昇率は前年比+0.7%と12月と変わらず。石油・石油精製品及びPC・電機・光学機器の価格は下落するも、食品・飲料・たばこや電気ガス等の価格は加速した
- 12月の輸入物価は前年比+2.6%と大幅に減速。原油価格が同マイナスに転じたため、鉱物燃料等の価格の伸びが大幅に縮小した。加えて、工業製品価格も大きく減速した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 物価

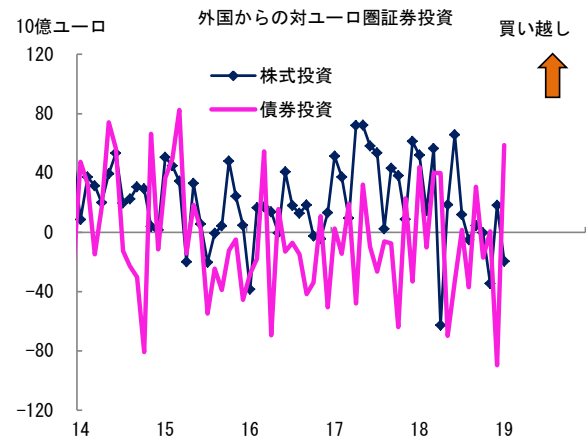
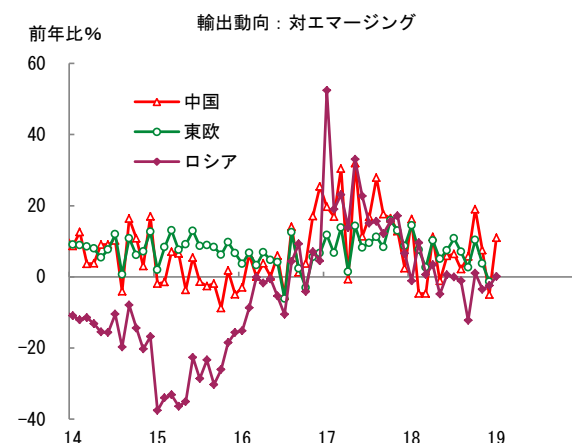
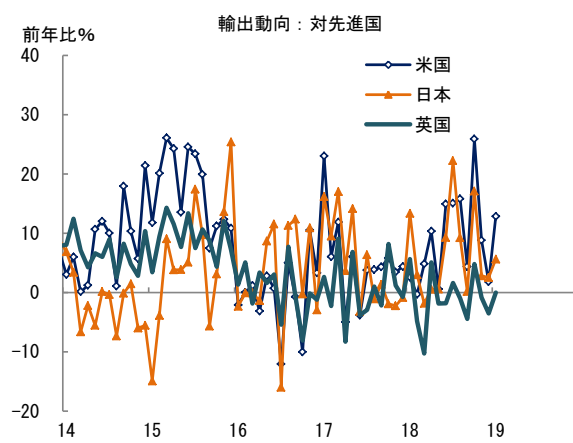
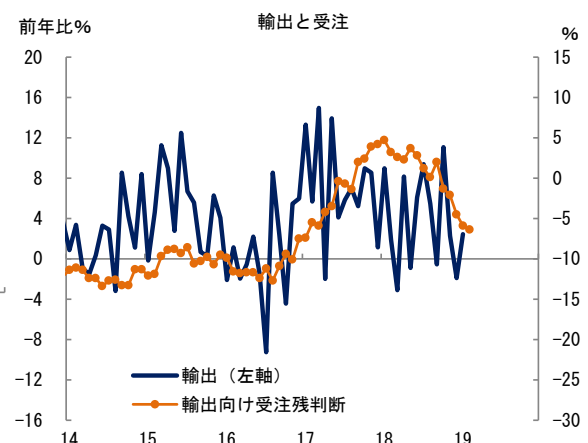
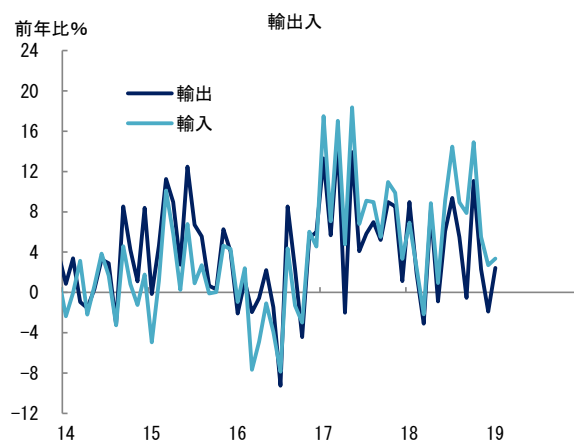
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.9%と1月からわずかに加速するも、2カ月連続でインフレターゲットを下回った。衣服・履物の価格下落が続く
- 2月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+3.7%に加速。原油等の価格が3カ月ぶりの上昇に転じたことが大きく貢献した。販売価格は同+2.2%と4カ月ぶりの加速
- 1月の輸入財デフレーターは前年比+2.3%と減速が続く。石油（原油及び石油製品）価格の下落幅が拡大したのに加え、工業製品全般の価格も減速となった



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

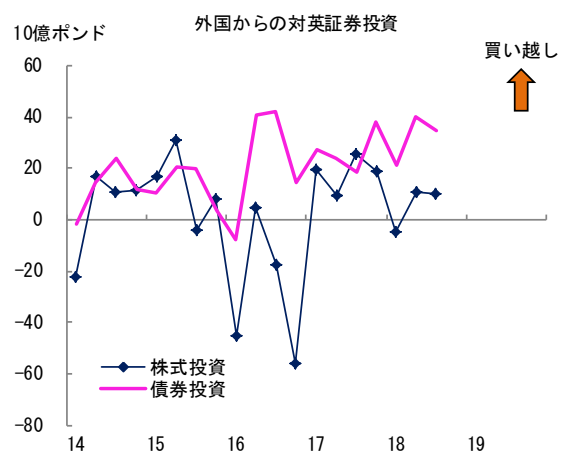
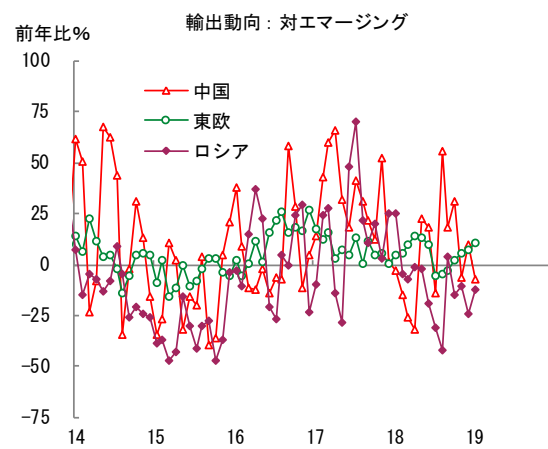
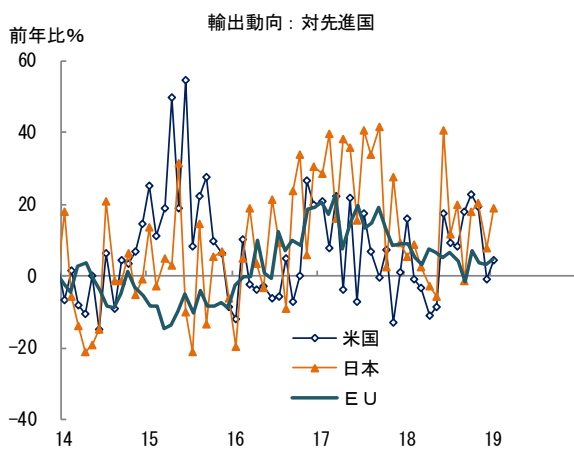
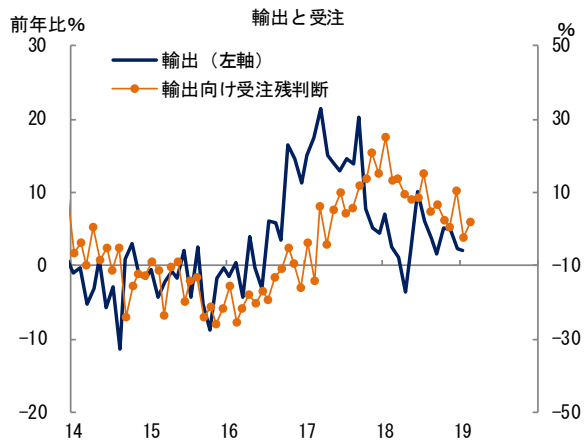
- 1月の輸出は前年比+2.4%に反発。輸入は同+3.4%。輸出入共に、工業製品及び食品・飲料・たばこが大きく寄与した
- 1月の経常収支は17年9月以来の大幅な黒字を記録した。サービス収支の黒字は前月比で縮小したが、第一次所得収支及び貿易収支の黒字が大きく拡大した
- 1月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資は統計開始以来の大幅売り越しとなった12月から一転、約4年ぶりの大幅な買い越しとなった



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 1月の輸入は前年比+7.0%と17年10月以来の水準まで加速。牽引役は化学製品及び食品・動物で、共に同+10%超の伸びとなった
- 一方、輸出は前年比+2.1%に減速した。原油価格下落により燃料輸出が大きく減速したことが主要因。加えて、原材料製品の輸出は8カ月ぶりの前年割れに転じた
- 輸出相手国別では、米国向けが反発し、EU及び日本向けも前年比で加速。エマージング向けでは、中国及びロシア向けが前年割れとなるも、東欧向けは加速した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成